

平成29年度一般会計補正予算を可決! ②



7月11日に竣工式が行われた中島ポンプ場

第2回臨時会の日程 5月2日（1日間）

5月2日 開会、市長の提案理由の説明、質疑、委員会審査、委員長報告、討論採決、質疑（追加提案）、採決（追加提案）、閉会

6月定例会の日程 6月8日～6月20日（13日間）

6月 8日 開会、市長の提案理由の説明
諸報告
9～12日 質疑
14日 一般質問

15～19日 委員会審査
20日 委員長報告、討論採決、閉会

(第2回臨時会) 議案概要

●可決した議案

議案名	内 容
第4回平成29年度高砂市一般会計補正予算	歳入歳出予算の総額に1億7,263万6千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を337億4,591万8千円とする
牛谷急傾斜地落石防止工事請負契約の一部を変更することについて	工事箇所不安定な岩塊が見つかり、設計の変更が必要なため契約を変更するもの

総務常任委員会

●「牛谷急傾斜地落石防止工事請負契約の一部を変更することについて」

牛谷急傾斜地落石防止工事の不安定な岩塊が見つかったことによる追加工事について審査しました。平成26年に工事の積算や発注に向けた斜面の調査を完了しており、行政側にも調査会社側にも責任が無いとはいえ、今後、調査方法や調査範囲の明確化、問題が生じた場合の対応策など契約のあり方を研究すべきとの意見を付けています。

(6月定例会) 議案概要

●可決した議案

議案名	内 容
損害賠償の額を定めることについて	部活動中の物損事故について損害賠償の額を定めるもの
損害賠償の額を定めることについて	除草作業中の事故について損害賠償の額を定めるもの
高砂市医療費助成条例の一部を改正する条例	地方税法の一部改正によるふるさと納税ワンストップ特例制度の創設に伴い、重度障がい者に係る医療費の助成の所得要件について必要な改正を行うもの
高砂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例	国が定める幼児教育の段階的無償化の推進に向けた取組に対応するため、市民税非課税世帯等、ひとり親世帯等及び多子世帯の軽減措置について、必要な改正を行うもの

●可決した補正予算

議案名	内 容
第5回平成29年度高砂市一般会計補正予算	歳入歳出予算の総額に1億477万2千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額は、338億5,069万円とする

●実施される主な事業

事業名	内 容
コミュニティ助成事業	一般財団法人自治総合センターが助成決定した団体へ市を通じて交付する助成金
総合体育館整備事業	スポーツ振興くじ助成金を活用し、総合体育館のトレーニング機器の更新に要する経費
文化会館施設整備事業	移動型音響調整卓の更新に要する経費
教育・保育給付事業	条例改正に伴い、利用者負担を軽減することに要する経費
母子福祉事業	ひとり親家庭の自立を支援する高等職業訓練促進給付金を増額する
リサイクル基金積立事業	高砂市リサイクル基金条例に基づき、平成28年度の資源ごみ売却収入を積み立てるもの
地域防災組織育成助成事業	一般財団法人自治総合センターが助成決定した団体へ市を通じて交付する助成金
中学校施設建設事業	鹿島中学校運動場北側に防球フェンスを設置する工事請負費
学校給食センター建設事業	中学校給食センター建設用地の買収に要する経費

●陳情

議案名	審議結果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持に関する件	採択
「共謀罪（テロ等準備罪）」法案の慎重審議を求める意見書の採択について	不採択
就学援助の入学準備金をおそくとも入学前の3月までに支給することを求める陳情書	採択

議案の表決結果を公表します

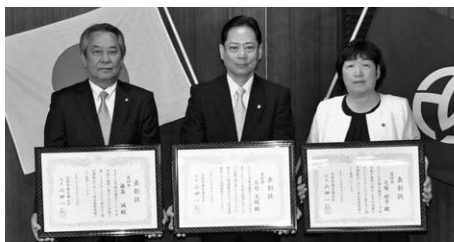
議会改革の一環として、議案の表決結果を公表しています。

賛成…○ 反対…×

議案	新政会						公明党			未来ネット	明風会		日本共産党		民主クラブ		議会の党 クラブ	議決結果		
	今竹 大祐	北畑 徹也	池本 晃	入江 正人	川端 宏明	藤森 誠	砂川 辰義	迫川 高行	森 秀樹	鈴木 利信	北野誠一郎	島津 明香	鷹尾 治久	石崎 徹	坂辺 勝彦	大塚 好子	福元 昇		横山 義夫	井奥 雅樹
平成29年第2回臨時会																				
第4回平成29年度高砂市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	注	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
牛谷傾斜地落石防止工事請負契約の一部を変更することについて	○	○	○	○	○	○	注	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年6月定例会																				
(事件議案)																				
損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(条例議案)																				
高砂市医療費助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
高砂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(予算議案)																				
第5回平成29年度高砂市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(陳情)																				
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持に関する件	○	○	○	○	○	○	注	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
「共謀罪(テロ等準備罪)」法案の慎重審議を求める意見書の採択について	×	×	×	×	×	×		×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	不採択
就学援助の入学準備金をおそくとも入学前の3月までに支給することを求める陳情書	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
(追加提案)																				
農業委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任

注：議長は採決に加わりません。

表彰



全国市議会議長会30年永年勤続議員表彰

今竹 大祐

全国市議会議長会10年永年勤続議員表彰

藤森 誠
大塚 好子
故木谷 勝郎

人事

● 農業委員会委員を任命するにつき同意しました。

高砂市荒井町	三好 覚	高砂市米田町	石堂 良信	高砂市阿弥陀町	西川 良一
高砂市伊保	位田 篤男	高砂市米田町	西村 一志	高砂市阿弥陀町	松本 慶一
高砂市松陽	柴田 晃	高砂市阿弥陀町	植原 種一	高砂市北浜町	芦谷 博務
高砂市曾根町	北野 益生	高砂市阿弥陀町	北原 知子	高砂市北浜町	藤井 陽一
高砂市曾根町	前橋 瑞紀	高砂市阿弥陀町	北原 豊茂		

● 人権擁護委員の候補者の推薦について適任としました。

高砂市荒井町	吉田 正俊	高砂市曾根町	南 勸四郎
高砂市中筋	岡田 章	高砂市阿弥陀町	北原 知子

(6月定例会) 委員会審査の概要報告

文教厚生常任委員会

当委員会に付託された各議案について審査しました。

【事件議案2件】

●損害賠償の額を定めることについて

鹿島中学校において発生した部活動中の事故について、また、宝殿中学校において発生した除草作業中の事故について、損害を賠償することを確認しました。除草作業を行う際は作業員の安全管理はもちろんのこと、周辺の安全管理も徹底して行うよう作業方法の改善を求めました。

【条例議案2件】 主な議案

●医療費助成条例の一部を改正する条例

ふるさと納税ワンストップ特例制度の創設に伴い、重度障害者医療費助成制度の所得要件の公平性を保つための改正に伴う条例改正について確認しました。

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例

国が定める幼児教育の段階的無償化の推進に向けた取組に対応するため、市民税非課税世帯等、一人親世帯等及び多子世帯の軽減措置についての条例改正について、所得要件や対象となる人数・影響額等を確認しました。

【予算議案】

●第5回 平成29年度高砂市一般会計補正予算

総合体育館整備事業において、トレーニング機器3機の更新をスポーツ振興くじ助成金を活用し実施する説明を受け、他の機器の更新計画や保守点検の方法等を確認しました。

文化会館施設整備事業において、移動式音響卓が既に故障しており喫緊に対応しなければならず、またこの機器は必要なものであるとの説明を受け、将来しかるべき時には、文化会館の運営のありかたをしっかりと検討すべきであると意見を付しました。

中学校施設建設事業において、鹿島中学校の部活動中の事故防止のための防球フェンス設置工事であることから、事故報告が早急に行われる体制の構築や近隣の方々との良好な関係作り、フェンス設置後の事故防止対策について確認しました。

【陳情2件】

- ・教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持に関する件では、教職員の過重労働が問題となっており、なにより子どものためにも教職員の研修や教育準備にもっと時間を活用すべきであるという意見から全会一致で採択し意見書を提出しました。
- ・就学援助の入学準備金をおそくとも入学前の3月までに支給することを求める陳情書では、入学前に支給が望ましいが解決すべき課題も多くあり現行では7月に支給されているが、国の制度の変更もあることから他の市の事例も参考にし、3月までに支給すべきであるとの意見から全会一致で採択しました。

総務常任委員会

【予算議案】

●第5回平成29年度高砂市一般会計補正予算

地域防災組織における助成金について審査を行い、助成に対する申請数や県による事業認可の経緯とともに全市的な周知や申請に関する手続き等を確認しました。また、地域防災組織が市内で92.2%組織されていることや未結成地域の状況を確認し、地域の特色や課題克服に向けた今後の行政の関わり方についても確認しました。

【陳情】

- ・「共謀罪（テロ等準備罪）」法案の慎重審議を求める意見書の採択については賛成少数で不採択となりました。本陳情への賛成意見として「政府与党は強行採決という暴挙に出ており民主主義の根幹を無視している。国民への影響が懸念される危険な法案であり慎重に審議すべき」、反対意見は「国際情勢のなか日本が置かれている立場からこの法整備は必要である。しかしながら国民理解は深まっておらず、今後の施行にあたり国民への説明とともに慎重な運用を行うべき」とありました。

建設環境経済常任委員会

【予算議案】

●第5回平成29年度高砂市一般会計補正予算

リサイクル基金の積み立てに対しての歳出であること、基金残高が1億2,860万574円となることを確認しました。また、基金の目的・用途がごみ減量化に関する事業や、集団回収の奨励金に充てられること、ごみ減量化に対しての啓発活動が推進されることも確認しました。

主な報告事項は以下の通りです。

生活環境部からは、ごみ焼却施設長期包括運営事業の総括が業者側から提出されました。とりわけ東日本大震災の影響のため、電力会社の依頼により2炉運転を行い、電力不足に対応したとの事でした。

まちづくり部からは、県道沖浜平津線や市道80・88号線及び、小松原地区整備事業の進捗状況の報告を受けました。また、松村川にかかる現在工事中の曾根38号橋の名称が「松村橋」と変更されました。

治水対策室からは、事業の進捗状況の説明を受けました。

上下水道部から伊保浄化センターの中央監視電気設備更新工事の契約（1億8,252万円）を行ったとの報告を受けました。

子育て支援の充実に向けて
ほか 追川 高行

問 子育て支援の充実に向けて、産官学連携による地域力を再構築し、新たな施策を進めていく必要があると考えます。ご意見を伺います。

答 大学等と連携協定を締結して、産官学連携による地域力を再構築し、新たな施策を進めていく必要があると考えます。ご意見を伺います。

問 子育て支援の充実に向けて、産官学連携による地域力を再構築し、新たな施策を進めていく必要があると考えます。ご意見を伺います。

答 大学等と連携協定を締結して、産官学連携による地域力を再構築し、新たな施策を進めていく必要があると考えます。ご意見を伺います。

問 子育て支援の充実に向けて、産官学連携による地域力を再構築し、新たな施策を進めていく必要があると考えます。ご意見を伺います。

答 大学等と連携協定を締結して、産官学連携による地域力を再構築し、新たな施策を進めていく必要があると考えます。ご意見を伺います。

問 子育て支援の充実に向けて、産官学連携による地域力を再構築し、新たな施策を進めていく必要があると考えます。ご意見を伺います。

オープンデータに対する
考え方について
ほか 島津 明香

問 データを二次利用可能な形式で公開するオープンデータの推進について、市の考え方を伺います。例えば、AED設置場所等、現状PDFで公開されているデータをCSV等のデータ形式に変換し、公開するだけでも有効かと考える見解を伺います。

答 行政経営プランの実行計画書において、行政情報の見える化やオープンデータの推進を主体的かつ積極的に行うこととしており、データの提供をすることにより、市民がオープンデータに係るメリットを実感する機会を提供するとともに、行政の効率化、高度化を図ってまいります。

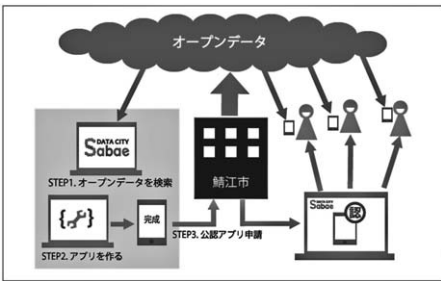
問 データを二次利用可能な形式で公開するオープンデータの推進について、市の考え方を伺います。例えば、AED設置場所等、現状PDFで公開されているデータをCSV等のデータ形式に変換し、公開するだけでも有効かと考える見解を伺います。

答 行政経営プランの実行計画書において、行政情報の見える化やオープンデータの推進を主体的かつ積極的に行うこととしており、データの提供をすることにより、市民がオープンデータに係るメリットを実感する機会を提供するとともに、行政の効率化、高度化を図ってまいります。

問 データを二次利用可能な形式で公開するオープンデータの推進について、市の考え方を伺います。例えば、AED設置場所等、現状PDFで公開されているデータをCSV等のデータ形式に変換し、公開するだけでも有効かと考える見解を伺います。

答 行政経営プランの実行計画書において、行政情報の見える化やオープンデータの推進を主体的かつ積極的に行うこととしており、データの提供をすることにより、市民がオープンデータに係るメリットを実感する機会を提供するとともに、行政の効率化、高度化を図ってまいります。

問 データを二次利用可能な形式で公開するオープンデータの推進について、市の考え方を伺います。例えば、AED設置場所等、現状PDFで公開されているデータをCSV等のデータ形式に変換し、公開するだけでも有効かと考える見解を伺います。



オープンデータ先進地鯖江市の例

国民健康保険が来年4月からは県への
広域一元化「会計年度職員」が新設
ほか 井奥 雅樹

問 国民健康保険が来年2018年4月からは県への広域一元化となり、今年秋には料金試算が3月議会最終決定予定、市民との議論はどのようになされたのか、ご意見を伺います。

答 国民健康保険が来年2018年4月からは県への広域一元化となり、今年秋には料金試算が3月議会最終決定予定、市民との議論はどのようになされたのか、ご意見を伺います。

問 国民健康保険が来年2018年4月からは県への広域一元化となり、今年秋には料金試算が3月議会最終決定予定、市民との議論はどのようになされたのか、ご意見を伺います。

答 国民健康保険が来年2018年4月からは県への広域一元化となり、今年秋には料金試算が3月議会最終決定予定、市民との議論はどのようになされたのか、ご意見を伺います。

問 国民健康保険が来年2018年4月からは県への広域一元化となり、今年秋には料金試算が3月議会最終決定予定、市民との議論はどのようになされたのか、ご意見を伺います。

答 国民健康保険が来年2018年4月からは県への広域一元化となり、今年秋には料金試算が3月議会最終決定予定、市民との議論はどのようになされたのか、ご意見を伺います。

問 国民健康保険が来年2018年4月からは県への広域一元化となり、今年秋には料金試算が3月議会最終決定予定、市民との議論はどのようになされたのか、ご意見を伺います。



国民健康保険証

交通網の充実について

川端 宏明

問 必要に駆られ、無理をしても運転を続ける方は少なくない。利便性向上、活性化のため事故防止、更には福祉施策の面からも、じょうとんパスなどの運行の拡充など交通網の整備が必要ではないか。

答 収益のみを考えると、利用者が多い路線だけを運行させることになるが、高齢化社会への対応など収益のみでは判断できない福祉面の取り組みもあるため、公共交通空白地域の足を確保する、既存の公共交通機関を維持確保する、公共施設及び大型商業施設への利便性を確保する、といったコンセプトを念頭に、利用者のニーズを念頭に、引き続き、満足度の向上に取り組みんでいきたい。

災害対応について

問 防災に関し、出前講座などの啓発活動による効果も表れているが、意識と準備が行き渡っているか、まだ時間を要する。より深い啓発活動についての考え方はどうか。

答 防災訓練や出前講座を継続して実施し、防災技能の普及や防災意識の高揚を図っている。昨年度は、水防訓練及び総合防災訓練に自治会、自主防災会から97団体686名が参加し、出前講座は48回開催し、2302名の参加があった。参加者も増加しており、市民の防災に対する意識は年々高まっている。

「子育て世代包括支援センター」と利用者支援事業 ほか

鈴木 利信

問 高砂市の子育て包括支援センターと利用者支援事業についてお聞かせください。

答 子育て包括支援センターは、保健センター内に新たに設置する準備を進めており、妊婦、母子などに対し、保健師、助産師等が専門的な見地から支援を行い、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援体制を構築する。利用者支援事業については、保健師等が妊婦、子育て期の保護者等と子どもで、要支援者等に対し、包括的、継続的な支援として対応方針や支援方法の個別プランを策定し定期的なプランの確認と評価、見直しを継続して行っていく。児童虐待の疑いがあるケースを把握した場合は、関係機関と連携し早期対応し、母子保健や育児に関する相談・訪問を実施し、母子保健サービスとの情報提供を行うとともに関係機関との連絡、調整、連携、協働の体制づくりを強化していく。

自治会法人化とコミュニティの活性化

問 高砂市の自治会法人化の現状と、法人化のメリット・デメリットについてお聞かせください。

答 高砂市において、平成5年から地縁団体の認可の申請を受け、平成28年度は新たに4団体を認可し、平成29年5月末現在で認可

指定管理制度の課題について(公共サービスの持続性と質を担保するために)

北野 誠一郎

問 高砂市の指定管理料の積算方法について考え方は確立されているか。

答 人件費の積算基準を設けている自治体があることは認識しているが、指定管理料の提案において、応募業者の特徴や創意工夫などを盛り込みながら施設を安全かつ適正に管理運営できるような組織体制及び人員配置を選択していると考えられるため、高砂市では人件費等の積算基準は設けていない。

問 協定の締結におけるリスク管理について、想定し得る事態を可能な限り拾い上げ、リスクを予測し、たうえで、それぞれの対応方針や、対応方法を検討すべきではないか。

答 公募時において、仕様書の第三者賠償や事業の停止、延期、市場環境の変化等をリスク分担表として明示することにより、指定管理の提案を行えるようにしている。また、災害時のその施設の役割も募集要項に記載し、協力も必要ない旨を募集時から周知しておき、指定管理者が決定した後もリスク分担表を協議している。

問 モニタリングについて、第三者(指定管理者制度運用委員会)による評価のみとなっているが、民間による指定管理の導入が進むなか、行政職員の「現場感覚」の維持・共有が重要となる。その為のルール作

り、仕組みづくりはできているか。
答 モニタリング時にも指定管理者に聞き取り調査等を行うが、通常業務の中で施設や設備の修繕等が必要になった場合は、市職員が現場に出向き、内容等を確認し、利用者への影響を修繕時期、修繕費用等も考慮し、指定管理者と協議をしながら対応している。施設によっては、毎月市と指定管理者で調整会議を行い、現状や今後の運営の問題点を協議している。

問 公共施設総合管理計画・個別の施設管理計画の策定にあわせ、これらと整合させた指定管理者制度の検証・取組みが必要ではないか。

答 個別計画策定を進める中で、指定管理者の指定期間も留意しながらその施設の方向性を決定していくことが必要と認識している。これから策定する個別計画により、統廃合や複合化の考えが出てきた場合は、その時期に合わせて原則5年として対応すること等も変更し、対応すること等も考えられる。大規模改造や長寿命化など、実施するとした場合の公示期間も事前提示して募集する必要もある。これらのことを踏まえながら、施設の個別計画を策定する中で、指定管理者制度との整合を図ってきたい。

教育勅語について

ほか 坂辺 勝彦

問 教育長に伺います。島根県の私立の学校で教育勅語を教材として扱っていたが、当時の文科省大臣が衆参議院で教育勅語が法制上の効力の失効により禁止を命じたことがありますが、教育勅語の意味を理解させた上でも暗唱させることはダメだと思えますが、いかがお考えでしょうか。

答 道徳の時間にしても、幼児教育にしても、いろんな資料がある。道徳の教科化で教科書ができていたり、いろんな形で資料として今の時代に合ったものがあるから、あえて教育勅語を使って指導をする等、暗唱させることは必要でなく、不適切ではないかと考える。

問 市内の全ての教育機関において、教育勅語を用いる、教材として使用するということは絶対にはありませんか。

答 学校の教育課程は、学習指導要領をもとに行われており、各先生が道徳やいろんな教科で副教材として使うことはあるから、そういうことがないような形でしっかりと園長・校長会等で指導していきたい。市長も参加した平和首長会議では、日本政府



核兵器廃絶宣言都市

に核兵器禁止条約の早期実現に向けた取り組みの推進について要請文書を提出することに同意し採択しています。高砂市長として核兵器禁止条約国連会議に日本も参加することを要請しませんか。

答 日本政府が一番思いを持っている1人ではないかと思う。広島平和式典に総理大臣は毎年参加しており、平和の誓いも述べている。国としては、核兵器廃絶、核兵器の使用禁止等について一番強い思いを持っていると思う。ただ、世界的な会議の中で何かをしようとしたときには、いろいろな制約があるのだからと思うが、私にはその制約はわからない。私自身がどうこういうよりも、国として参加したいが、していないというのも新聞では出ていたと思う。そういうことから言っても、日本政府のいろんな事情があるのだからと思う。

就学援助の新入学準備金の入学前支給について

ほか 大塚 好子

問 日本共産党は、就学援助制度の拡充を求めてきました。入学準備金を前倒しして入学前の3月以前に支給することを、3月議会でも求めました。この件について文科省から3月31日付で通知が出されている。その後の検討についてお聞かせください。

答 入学準備に係る費用がことは認識している。現在の就学援助システムで入学前の児童が管理できないこと、入学前に就学援助の認定をする所得要件の考え方、規則等の改正について課題を整理している。近隣の状況等も確認しながら、市当局とも協議、調整し、前向きに検討していきたい。

「生活困窮世帯の子どもの学習支援事業」について

問 高砂市の施策の取り組み状況をお聞かせください。

答 学校教育において、生活困窮者のみを対象にした取り組みは現在行っていませんが、すべての小中学校において児童生徒の学力を保障するため、少人数学習を実施し、きめ細かな学習指導を行っている。また、放課後に教員OB等の地域人材を活用した補充学習や、学生スタディパートナー事業により児童生徒の学習意欲を高め、基礎学力の向上を学習習慣の定着に向けて学習支援を行っている。

安倍首相の「改憲」発言について

問 9条に自衛隊を明記する改憲とあわせて「高等教育（大学など）の無償化」を改憲理由にあげています。「高等教育（大学など）」の「無償化」に改憲が必要でしょうか。また、9条「改憲」について市長の考えをお聞かせください。

答 骨太の方針2017の柱として幼児教育と保育の早期無償化を掲げており、憲法の改憲が必要ではないかという考えは、現行法の下で行う意思表示であるため、憲法の改憲がなければ幼児教育と保育の無償化ができませんという考えは、策として可能であると思っ

公務員労働者のやりがいと働く実態について

問 行革による職員の削減は、職員のモチベーションを低下させ、市民サービスの低下につながっていないでしょうか。消防署でパワハラが問題になりました。パワハラアンケートを全職員に実施を求めます。

答 今年度の管理職人権研修はパワハラをテーマに実施する予定としており、さらなるパワハラ知識の向上を図る予定である。アンケートは早期発見の有効な手段の一つではある。さまざまな取り組みを検討していき、今後ともハラスメントの整備に努めていきたい。

政務活動費をホームページで公開します

高砂市議会では、用途の透明性の確保のため、平成27年度分からの政務活動費の収支報告書をホームページで公開しています。詳しくは高砂市のホームページをご覧ください。

高砂市議会では、政務活動費を会派及び無所属議員に対して1人あたり年間300,000円を交付しています。

支出書を3ヵ月ごとに議長に提出し、その内容が適切であると認められたときに支払われる後払い方式にしています。

意見書を提出しました

平成29年6月20日に議決された下記の意見書を内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長に対し提出しました。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書

詳しくは議会事務局 ☎ (079) 443-9051までお問い合わせください。

閉会中の継続審査について

高砂市議会は、本会議を行っていない閉会中にも各委員会を開催し、以下のことについて継続した調査を行っています。

総務常任委員会

- ・ 総合計画に関すること
- ・ 公有財産に関すること
- ・ 市税に関すること
- ・ 消防の充実に関すること
- ・ 情報公開に関すること
- ・ その他の所管事項

文教厚生常任委員会

- ・ 国保年金に関すること
- ・ 社会福祉事業の推進について
- ・ 教育文化の向上について
- ・ 市民病院の充実に関すること
- ・ その他の所管事項

建設環境経済常任委員会

- ・ 農林水産業及び商工業の振興に関すること
- ・ 葬祭事業に関すること
- ・ 美化センターに関すること
- ・ 道路・河川・港湾の整備に関すること
- ・ 住宅対策及び建築・開発に関すること
- ・ 都市計画事業に関すること
- ・ 水道及び下水道事業に関すること
- ・ その他の所管事項

議会運営委員会

- ・ 議会の運営に関すること
- ・ 議会の会議規則・委員会に関する条例等に関すること
- ・ 議長との諮問に関すること

広域ごみ処理施設対策特別委員会

- ・ 施設建設について
- ・ 広域化に係る周辺整備について
- ・ その他諸課題について

定例会傍聴者数（平成28年度）

28年 第1回臨時会	6月 定例会	9月 定例会	12月 定例会	29年 第1回臨時会	3月 定例会	合計
0	10	13	15	0	28	66



傍聴へどうぞ

9月定例会

9月定例会は
9月11日(月)
開会予定です

詳しい日程は後日、高砂市議会ホームページにてお知らせいたします。

訂正とお詫び

・ 6月発行の高砂市議会だより第192号10ページ、固定資産評価審査委員会委員の任命において、「塩崎 篤史」とありましたが、「塩崎 篤史」の誤りでした。ご迷惑をおかけしたことをお詫びして、訂正いたします。

・ 同じく第192号16～19ページ、広域ごみ処理施設対策特別委員会中間報告書、行政経営調査検討特別委員会報告において、参考の資料が添付されていませんでした。紙面の都合上、添付が困難なため、ホームページ上で掲載いたします。詳しくは、高砂市議会ホームページをご覧ください。

議会だよりについて

「議会だより」は市議会だより編集委員会で作成しています。

「議会だより」は各会派から選出された委員で構成される市議会だより編集委員会で協議を行い、作成しています。

毎回、レイアウトはどのようにするか、この記事はどのような書き方のほうがわかりやすいのではないだろうか、など、多角的な視点で協議を重ね、改善できる部分は改善して発行に至っています。

今後も親しみやすい紙面を目指し、取り組んでいきますので、温かく見守っていただければと存じます。また、お気づきの点はご意見いただければ幸いです。

市議会だより編集委員会

委員長 島津 明香
副委員長 川端 宏明

委員 井奥 雅樹
坂辺 勝彦
迫川 高行
鈴木 利信
横山 義夫